

# 柴又地域学校改築懇談会 ～第2回～

令和6年1月26日（金）

葛飾区  
葛飾区教育委員会

## 懇談会の進め方

※本資料中の「柴又地域の学校」は柴又小学校・東柴又小学校・桜道中学校を指します

### 【本日】柴又地域（※）における学校改築の区の方の説明

区が考える学校改築について、昨年度から開催してきた説明会の資料をもとに説明し、説明会で出た意見を紹介します。

### 【次回以降】改築手法の検討

学校改築の検討に当たり、説明会で出た意見を中心に深掘りします。また、本日の説明を踏まえて、皆様が感じる課題や疑問点をアンケートし、次回以降に意見交換を進めます。

## これまでの説明会などの実施状況

対象	日時	場所	参加者数
保護者向け 説明会	令和5年2月27日（月）午後5時～午後5時50分	東柴又小学校	3名
	令和5年2月28日（火）午後5時～午後6時00分	柴又小学校	4名
	令和5年3月 5日（日）午後3時～午後4時20分	柴又小学校	16名
	令和5年3月19日（日）午後3時～午後4時05分	東柴又小学校	3名
近隣向け 説明会	令和5年2月27日（月）午後7時～午後7時50分	東柴又小学校	5名
	令和5年2月28日（火）午後7時～午後8時00分	柴又小学校	8名
	令和5年3月 5日（日）午後1時～午後2時00分	柴又小学校	11名
	令和5年3月19日（日）午後1時～午後1時25分	東柴又小学校	2名
	令和5年5月21日（日）午前10時～午後0時30分	柴又小学校	21名
	令和5年8月 6日（日）午前10時～午前10時30分	東柴又小学校	8名

※区公式ホームページでの動画視聴回数…1, 129回（令和6年1月4日現在）

# (1) 葛飾区の学校改築

昭和30年～40年代に建設した小・中学校の老朽化が進んでおり、区では計画的に学校改築を進めています。改築に当たっては、今後の学級数の推計や学校施設の老朽化の状況などを踏まえるとともに、地域バランスも考慮しながら、平成30年度に葛飾区を7つのエリアに分けて1校ずつ改築校を選定しました。

地域	新校舎完成済	これから改築を進めていく学校
水元地域	—	水元小学校
亀有・青戸地域	中青戸小学校	道上小学校
奥戸・新小岩地域	小松中学校	二上小学校
立石・四つ木地域	本田中学校	よつぎ小学校 (四ツ木中学校との施設一体型校舎)
南綾瀬・お花茶屋・堀切地域	西小菅小学校	宝木塚小学校
金町・新宿地域	東金町小学校	常盤中学校
柴又・高砂地域	高砂小学校・高砂中学校	柴又小学校

## (2) 柴又地域における学校改築（案）

### (案1)

柴又小学校の単独改築

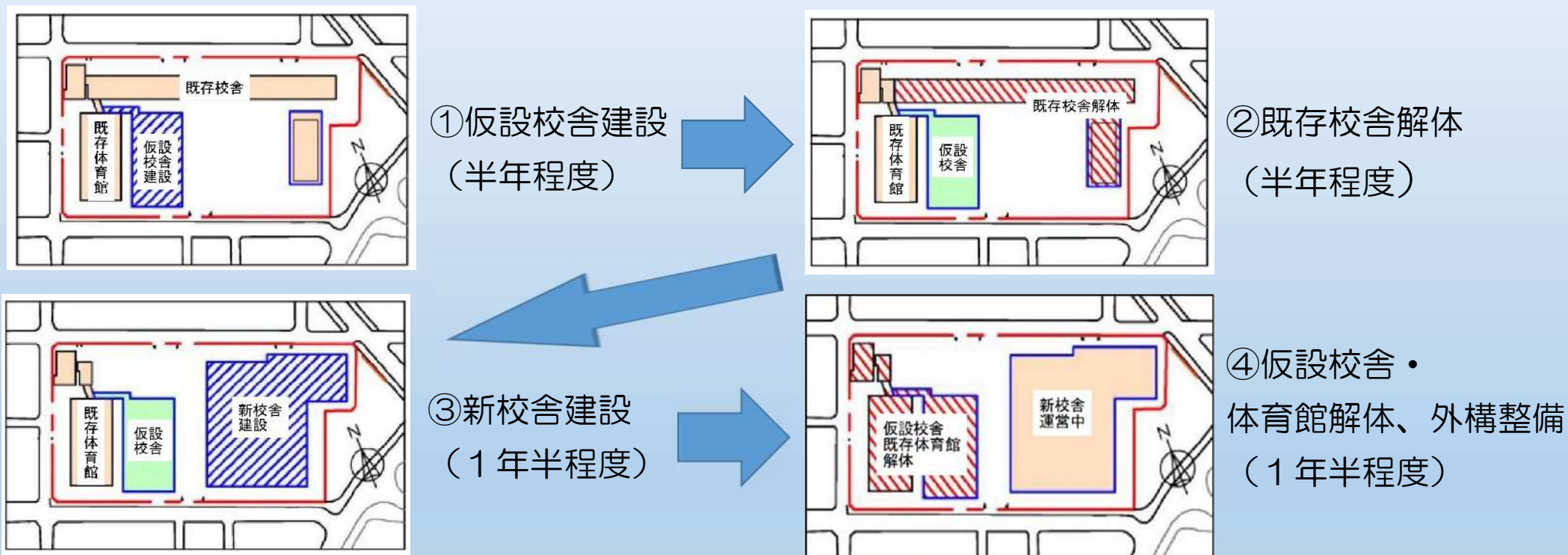
### (案2)

柴又小学校に東柴又小学校、桜道中学校も  
含めた柴又地域一連の学校改築

柴又小学校と東柴又小学校をいずれか一方の敷地に一体で整備し、もう一方の空いた小学校の敷地を、単独改築が困難な桜道中学校の仮校舎として活用することで桜道中学校も改築する。

## (2) 柴又地域における学校改築（案）

### (案1) 柴又小学校単独改築の工程



※実際の縮尺や配置などは変わる可能性があります。

## (2) 柴又地域における学校改築（案）

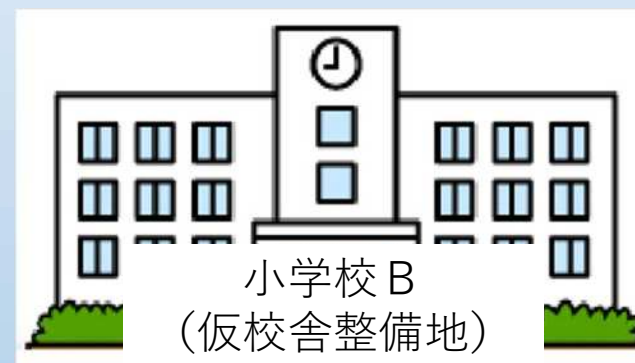
### (案2) 柴又地域一連の学校改築の工程

#### ステップ1：小学校改築

#### <小学校統合の場合>



② 仮校舎へ引越・統合



④ 新校舎へ引越

① 現行どおり学校運営

③ 既存校舎解体・新校舎建設

⑤ 統合小学校新校舎として運営

① 仮校舎として整備工事、現行どおり学校運営

③ 統合小学校仮校舎として運営

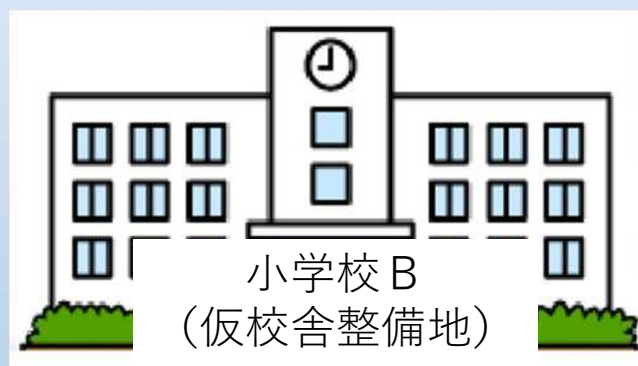
※中学校改築の流れは、次スライドへ

## (2) 柴又地域における学校改築（案）

### (案2) 柴又地域一連の学校改築の工程

#### ステップ2：中学校改築

#### <小学校統合の場合>



② 仮校舎へ引越

④ 新校舎へ引越



- ① 小学校 B が空いた後、桜道中学校仮校舎として改修工事
- ③ 桜道中学校仮校舎として学校運営

- ① 現行どおり学校運営
- ③ 既存校舎解体・新校舎建設
- ⑤ 桜道中学校新校舎として運営<sup>8</sup>



## (3) 学校改築の3つの柱

---

- ① 工事中の教育環境への影響低減
- ② 未来を見据えた教育環境の整備
- ③ 地域の拠点となる学校づくり

## (3) 学校改築の3つの柱

### ① 工事中の教育環境への影響低減

工事に付随する課題

- ・ 騒音や振動問題
- ・ 外遊びや運動場の確保
- ・ 長期間にわたる工事

【参考】単独改築と一体改築の工期比較

柴又小学校	東柴又小学校	桜道中学校	一体改築
4 8 か月 (4 年)	5 1 か月 (4 年 3 か月)	7 8 か月 (6 年 6 か月)	7 2 か月 (6 年)

※1 上記の工事期間は着手の段階において変わる可能性があります。

※2 工事期間の他に、設計などで約3～4年要します。

※3 桜道中学校は敷地内に高圧線の鉄塔があり、工事への制限や安全性確保のため工期が長くなります。

⇒仮に単独で改築する場合、東柴又小学校・桜道中学校も柴又小学校と同様、騒音・振動の影響をそれぞれ受ける。



### (3) 学校改築の3つの柱

#### ① 工事中の教育環境への影響低減

学校名	柴又小学校	東柴又小学校	桜道中学校
所在地	柴又四丁目30番1号	柴又五丁目12番15号	柴又四丁目3番1号
敷地面積	7,646m <sup>2</sup>	10,215m <sup>2</sup>	10,104m <sup>2</sup>
延べ面積	5,232m <sup>2</sup>	4,343m <sup>2</sup>	6,407m <sup>2</sup>
児童・生徒数	292人 特別支援学級24人	308人	414人
学級数	12学級 特別支援学級3学級	12学級	12学級
建築年	昭和40年	昭和38年	昭和35年

いずれの学校も建築から50年を超え、改築等を検討する時期にきています。

### (3) 学校改築の3つの柱

#### ① 工事中の教育環境への影響低減

柴又地域の学校の状況



## (3) 学校改築の3つの柱

### ② 未来を見据えた教育環境の整備

ア) 学びのスタイルの変化に対応した建物

- ・ 教室面積の拡大 (63㎡→74㎡)
- ・ ICTへの対応
- ・ 学習センター (学校図書館) の充実 など

イ) バリアフリー、ユニバーサルデザインへの配慮

- ・ 段差解消・バリアフリースイッチ
- ・ エレベーター設置 など

ウ) 環境・衛生面の配慮

- ・ 太陽光発電などの省エネルギー化
- ・ ポストコロナへの対応 など

### (3) 学校改築の3つの柱

#### 【参考】通学区域別住民登録者推移（小学校）

学校	平成30年4月							令和5年4月							増減							増減割合
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計	
柴又小	56	57	51	40	56	50	310	55	53	47	50	49	49	303	▲1	▲4	▲4	10	▲7	▲1	▲7	-2%
東柴又小	46	53	48	62	46	51	306	35	38	39	37	38	42	229	▲11	▲15	▲9	▲25	▲8	▲9	▲77	-25%

⇒児童数は減少見込みで、  
区が考える適正学級数（12学級から18学級）を将来的に  
下回る可能性がある。

## (3) 学校改築の3つの柱

### ③ 地域の拠点となる学校づくり

#### ア) 防災機能の強化

- ライフラインの途絶にも対応できる自家用発電設備や貯水機能付給水管の設置
- 水害を想定した体育館、備蓄倉庫の2階配置 など

#### イ) 地域と学校とのつながりを重視した学校

- 周辺環境に調和した校舎
- 学校の歴史の継承
- 利用しやすい施設開放のレイアウト

## <まとめ> 区の柴又地域の学校改築の考え方

柴又地域一連の学校改築をすることで

- ① 工事による教育環境に与える影響を低減できる
  - ・ 工事中の騒音、振動問題
  - ・ 外運動、体育の場を同じ敷地内で確保できる
- ② 柴又地域の児童・生徒が等しく同じ教育環境を享受できる
- ③ 結果として適正な学級数を保つことができる

⇒ 上記を踏まえ、区では柴又地域一連の学校改築が望ましいと考えております。今後は、皆様の意見を踏まえて、改築の方針として決定していく予定です。



## 説明会などにおける区の改築の考え方に対する主な意見

1 教育環境について	
No.	意見
1-1	柴又小学校は校庭が狭いので、居ながら工事（同じ敷地内で改築工事を完結すること）は現実的ではないことから、区の考える改築を進めるべき。
1-2	改築による騒音や振動など教育環境への影響や、児童・生徒の精神的なケアが必要となることが気になる。
1-3	単独での改築による騒音や振動を抑える方法を考え、それが難しいならば区が考える改築の手法を採用するという順序とすべきである。
1-4	新校舎がどちらの敷地に建つとしても、多くの児童が柴又街道を横断することに不安を感じる。
1-5	統合により環境が変わることで児童が精神的に不安定になることやいじめが起こる可能性があるため、手厚いケアが必要となる。

2 望ましい学級数について	
No.	意見
2-1	子どもが増えないことを考えると、区が考える改築手法で、一から新しい学校を作るのが柴又地域の活性化につながるのではないかと。
2-2	統合する理由について、児童数推移のエビデンスや区の財政によるメンテナンスコストの観点からだろうと思うが、東京都や葛飾の推計を出せばみんなも理解するはず。
2-3	柴又の世帯数は増えているはず、少子化にはなっていない。
2-4	児童数が減少傾向と言っているが、少子化対策をすれば12学級は将来的に維持できる。
2-5	一学級の児童数が少なくなるほど子どもの気持ちが大きくなりいいことだと思う。ぜひそういう視点で改築に取り組んでほしい。

3 施設規模について	
No.	意見
3-1	学校改築は公共事業になるので、周辺の土地を買収し、学校敷地を広げるなど、学校としてどうあるべきかという視点で考えるべき。
3-2	同じ敷地内に柴又小学校と東柴又小学校の児童が過ごすとなると、校舎やグラウンドが過密になり授業や外遊びなどに支障がある。
3-3	一連の学校改築となった場合、柴又小学校と東柴又小学校の児童が仮校舎に通うに当たり、既存校舎では手狭になるはずである。

4 その他	
No.	意見
4-1	柴又小学校は浦川原の交流を行っているが、東柴又小学校では行っていない。一方で東柴又小学校では近隣農家との交流がある。同じ柴又地域の児童がいっしょになって同じ体験ができることは、子どもたちにとって良いことである。
4-2	学校は地域の財産であり、歴史のある両学校が統合によりなくなることによる心情的な問題が大きい。

## 意見交換のテーマ（案）

回数	日時	議題
第3回	令和6年2月28日（水） 午後7時～	<u>教育環境について</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学時の柴又街道横断の安全性について</li> <li>・工事期間中の騒音や振動について など</li> </ul>
第4回	令和6年3月28日（木） 午後7時～	<u>望ましい学級数について</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柴又地域の今後の児童数について</li> <li>・望ましい児童数・学級数について など</li> </ul>
第5回	令和6年4月（下旬）	<u>施設規模、地域の拠点となる学校づくりについて</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎の大きさやグラウンドの広さについて</li> <li>・防災機能の強化について など</li> </ul>
第6回	令和6年5月（下旬）	<u>第3回から第5回までの意見交換のまとめ</u>

※委員の皆様からアンケートでいただいたテーマについても、第3回から第5回の中で意見交換を行う予定です。